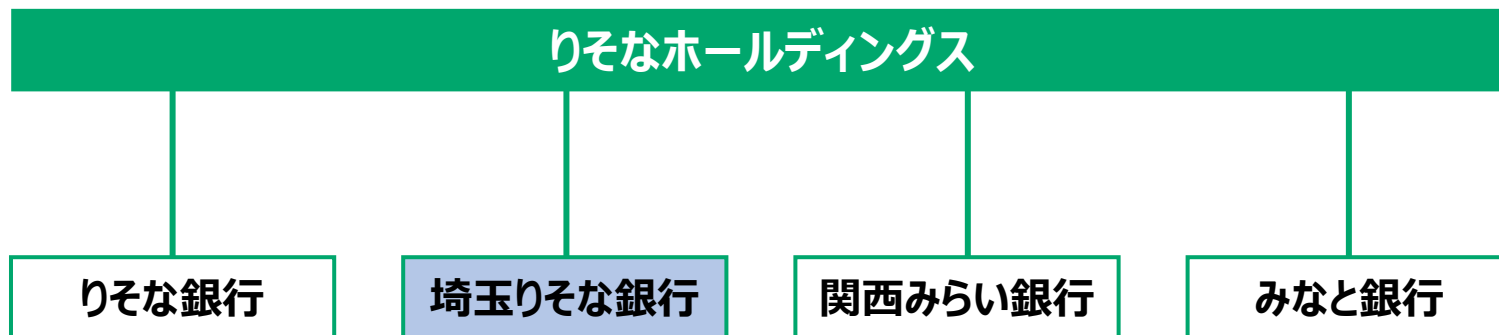


# 埼玉りそな銀行の取組み

2025年3月



**SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS**



## 【店舗網】

有人店舗数

# 818



2024年3月末現在

## 【お客さま基盤】

【個人顧客数(万人)】 【法人顧客数(万社)】

# 1,600

# 50

【預金(兆円)】

# 63

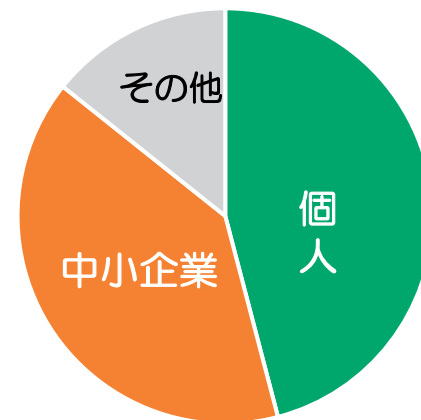
【貸出金(兆円)】

# 42

(2024年3月末)

## 【貸出金の内訳】

約8割が中小企業・個人向け



2024年3月期 財務・非財務ハイライト

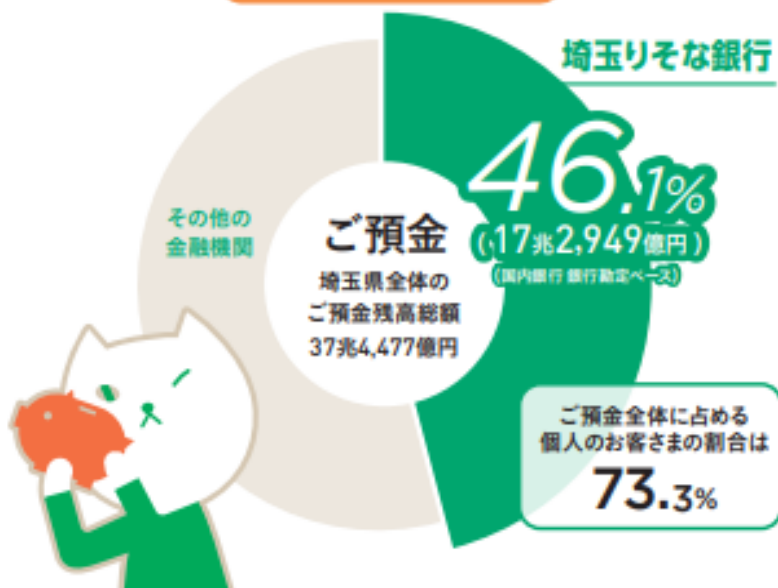


▼ 財務情報

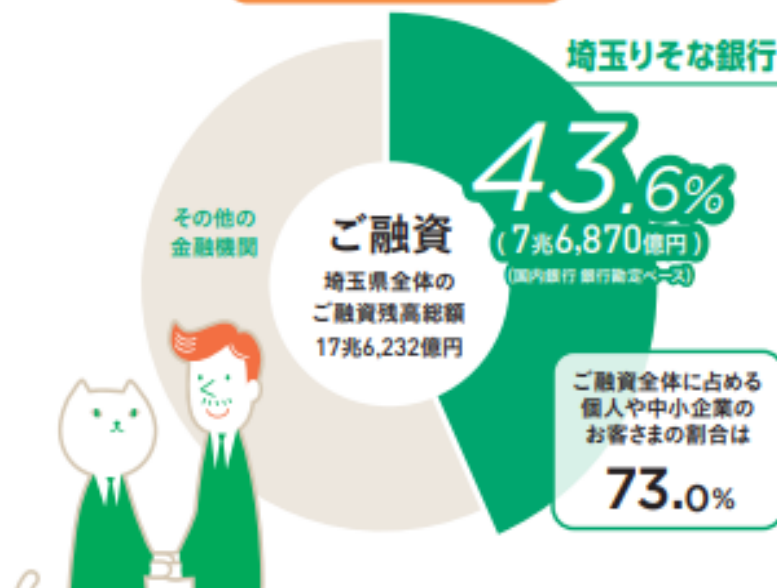
おかげさまで **預金額** **融資額** 県内トップシェア

ご預金・ご融資の県内シェアはともに**40%超**を確保

県内のご預金シェア



県内のご融資シェア



りそなグループの  
パーパス

金融+で、未来をプラスに。

埼玉りそな銀行の  
目指す姿

渋沢翁が掲げた道徳経済合一の理念が息づく地域金融機関として  
埼玉県の皆さまに信頼され、地元埼玉とともに発展する銀行

## 中期経営計画 (2023~2025年度)

埼玉県5か年計画 ~日本一暮らしやすい埼玉へ~ (2022年度~2026年度) をベースに策定

位置づけ

『価値の良い流れを創り出す』共創社会のハブへと進化する3年間

共創価値

安心で豊かな社会の実現

事業・暮らしの安心  
金融リテラシー向上  
安心・安全な金融インフラ



持続的な成長への 貢献

挑戦への伴走  
変化への対応  
次世代への発展的承継



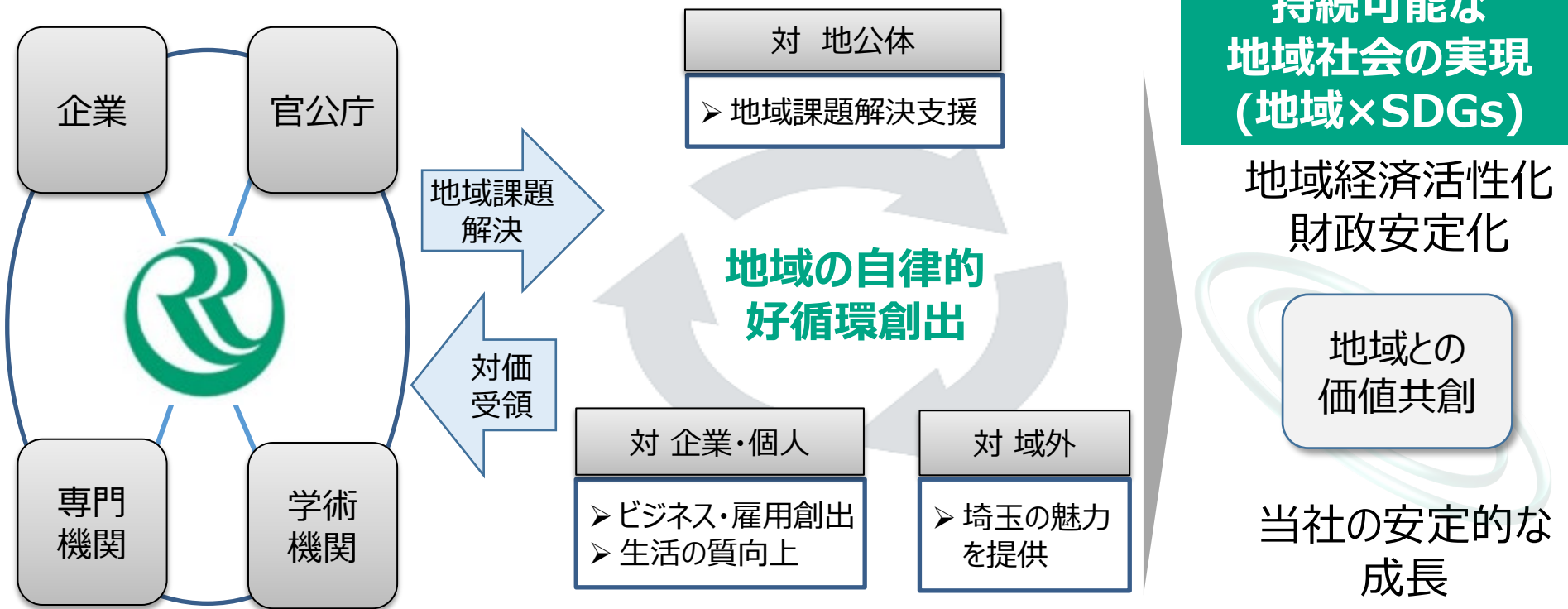
魅力ある埼玉の創造

地域課題の解決  
人・企業の流入  
誰もが輝く社会



## ◆「持続可能な地域社会の実現(地域×SDGs)」に向けて

- 金融機関がハブ機能を発揮することで、地域の自律的好循環を創出し、「持続可能な地域社会づくり」と「当社の持続的な成長」を両立することを目指します



## 銀行が情報の“ハブ”となり地域振興をサーキュラーエコノミーで後押し！！

### 内容

#### フードロス削減および地域振興を目指したクラフトビールづくり (規格外イチゴ×地元クラフトビール醸造所×地元プロバスケットチーム)

- 県内有数のイチゴの産地である久喜市では、収穫適期（11月～5月下旬）を過ぎると、収穫されずに苗ごと抜かれて廃棄されていました。フードロス削減と地域振興の両立を目指すために、銀行が埼玉県や久喜市と連携し、生産者にも協力してもらい、廃棄予定のイチゴを確保。市内のクラフトビール醸造所のお客さまが、従来廃棄されていたイチゴをアップサイクルしたクラフトビールづくりに生かしました。
- イチゴの仕込みは、地元プロバスケットチーム（SAITAMA WILDBEARS）の選手も一緒に行い、出来上がったクラフトビールは同チームのイベントや試合などで販売し、久喜市の名産であるイチゴのアピールやイベント等への集客を通じた地域振興にもつなげました。
- TVニュースでも報道もされ、当社の取組みが地元の他金融機関にも伝わったことで、ビール醸造所によれば「他行からも、規格外果物等の活用に向けた提案がくるようになった」とのこと。地域のフードロス削減や未利用資源のアップサイクルに向けた意識向上にも貢献しています。

### ポイント

- 銀行がハブとなることで、久喜市のこまごごと（廃棄していた規格外イチゴ）と地元クラフトビール醸造所と、地元プロバスケットチームをつなぎ、新たな価値を創出した事例です
- 新たな価値は、従来廃棄していたイチゴを活かす、サーキュラーエコノミーの実現に資するものであり、本取組みをきっかけに、地域のフードロス削減や未利用資源のアップサイクルに向けた意識向上にも貢献しています



埼玉りそな銀行久喜支店

アグリソリューションデスク

久喜市（農林振興センター）

プロバスケットチーム

クラフトビール醸造所

## アグリソリューションデスク：現在は法人部門に配置

・・・経営直轄組織として“農業ビジネスデスクフォース”を立上げ→短期集中でビジネス化

地域の農業ビジネスの活性化や**食のサーキュラーエコノミー**を埼玉りそな銀行がハブ機能を発揮し実現を目指す

～本社9階食堂にて取引先の白米を提供～

提供する白米の特徴は、吉川、加須、春日部など県内東部エリアを中心に作られた**埼玉県産の新米(彩のきずな)**であることに加え、**本社食堂の食べ残しが含まれる食品リサイクル堆肥を使用して生産されたもの**

「食品ロスが農業で活用され、生産されたお米がまた私たちの口に入る」という、廃棄物を生み出さず、資源として循環させる『サーキュラーエコノミー』を実践する取組み

持続可能な社会の実現など「未来をプラスに変えていく」ことを目指し、イベント実施※食品リサイクル堆肥も、取引先にて製造

当社取引先さまとの協業によるサーキュラーエコノミーの実現、地産地消への取組みを応援することを通じ、県内農業の支援、社内のSDGs機運を更に高めることが狙い

**非製造業でも取り組めることはたくさんあるということ**  
**自ら実践することで従業員の意識を醸成**



『無洗米 彩のきずなエコ循環米』

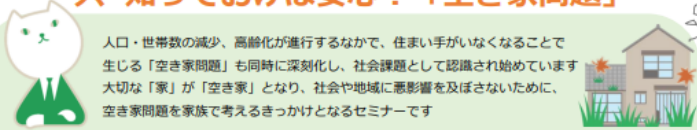
経営直轄組織として“空き家対策タスクフォース”を立上げ（2024年4月～）→短期集中でビジネス化

地域課題である空き家問題への対応を“**広義のサーキュラーエコノミー**”として捉え、  
埼玉りそな銀行と地域デザインラボさいたま（銀行業高度化等会社）が**ハブ機能**の発揮を目指す

▶ ①発生抑制、②管理、③活用・流通の各ステージで事業者と連携しオーナーや利用者へのソリューション提供を志向

## 空き家対策セミナー

今、知っておけば安心！「空き家問題」




人口・世帯数の減少、高齢化が進行するなかで、住まい手がいなくなることで生じる「空き家問題」も同時に深刻化し、社会課題として認識され始めています。大切な「家」が「空き家」となり、社会や地域に悪影響を及ぼさないために、空き家問題を家族で考えるきっかけとなるセミナーです

○日程 2025年1月25日(土)  
○時間 13:00～14:30  
○会場 埼玉りそな銀行川越・川越南支店  
2階「セミナールーム」  
※川越支店・川越南支店・霞ヶ関支店・新河岸出張所共同開催

参加無料  
定員 20名  
先着順

■講師■  
行政書士 服部 隼和氏  
行政書士服部事務所 代表  
埼玉県行政書士会「空き家・所有者不明土地対策委員会」委員長



■セミナー内容■  
第1部 「空き家」とは何か  
～空き家の問題点、具体的対策について～  
第2部 埼玉りそなにできること  
「空き家」や「相続・認知症」への備え  
～家族に負担をかけないために～

下記番号にお電話でご予約いただくか、店頭まで本用紙をご持参の上お申込ください。

埼玉りそな銀行  
川越・川越南支店 049-245-1251 担当:横山・大島  
新河岸出張所 049-241-2111 担当:伊藤・田中  
霞ヶ関支店 049-231-2001 担当:佐藤・城内

受付時間 平日 9:00～17:00(土日祝休み)  
※ 自動音声の後3番を選択願います。  
※ 新河岸出張所、霞ヶ関支店 窓口休業時間12:00-13:00



WEB申込はこちら▶



[https://www.saitamaresona.co.jp/kojin/seminar\\_soudan/seminar/index.html](https://www.saitamaresona.co.jp/kojin/seminar_soudan/seminar/index.html)

申込方法

空き家対策 事業実績		
発注者	事業内容	実施
1 国交省 補助事業	①高校生探求学習・住教育を通じた空き家調査・啓発 (実施地域:鶴ヶ島市)	23年度
2 国交省 補助事業	②空き家発生予防モデル (実施地域:深谷市)	23年度
3 国交省 補助事業	③「旅人」による新たな働き方の実現拠点および移住/観光宿泊の啓発事業での空き家利活用モデル (実施地域:寄居町)	23年度
4 タガヤス	④空き家対策事業者プラットフォーム構築事業	23年度
5 埼玉県(後援)	埼玉県空き家対策ソリューションピッチ	23年度
6 国交省 補助事業	データ活用による空き家発生抑制・啓発に関する相続相談を含む“一気通貫”モデル広域展開	24年度
7 国交省 補助事業	“時間貸し”による空き家等の新たな利活用・管理と団地等の地域コミュニティ創出	24年度
8 国交省 補助事業	インバウンド向け空き家利活用活性化等と訪日客ニーズ調査による空き家利活用者発掘事業	24年度

地域デザインラボさいたま受注案件



## 地域デザインラボさいたまが運営する共創空間



- 2024年5月15日(水)、国の登録有形文化財である旧川越支店が、「りそな コエドテラス」としてリニューアルオープン！
- “埼玉県の産業・観光・暮らしの好循環を創出し、地域の未来をプラスにする唯一無二の共創拠点”を目指し、産業創出やブランディング、賑わい創出に挑戦しています

来館者数  
約**15万人**

会員数※  
**147先**

イベント  
開催件数  
**66件**

メディア  
掲載件数  
**62件**

★川越市内  
創業支援機  
関との事業連  
携協定締結★

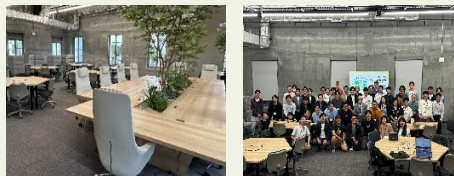
## 主な取組み内容



01

### 産業創出事業(1F/3F)

- インキュベーション・コワーキングスペースやシェアオフィス・キッチン、チャレンジショップを活用し、テストマーケティング、共創イベント、アントレプレナー教育等を実施



02

### ブランディング事業(1F/2F)

- カフェテリア、レストラン、バー、物販など埼玉や川越の魅力、農と食、文化芸術、地域活動などのブランド発信やPRを実施



03

### 賑わい創出事業(屋外スペース・2F)

- 屋外イベントスペース、テラス等を活用し、観光客や地域住民など幅広い方が集い、楽しめる拠点づくりを実施



※Resona Kawagoe Base + (インキュベーション・コワーキングスペース)の会員数